

横浜ウォーター株式会社の事業進捗状況について

1 浄水場運転管理

- (1) 平成22年9月1日 鶴ヶ峰浄水場の運転管理業務を受託
- (2) 同社の社員である水道局OB職員14名のほか、10月から民間企業から研修目的の出向者を2名受入れ

2 研修事業

民間企業及び水道事業体の職員を対象に、水道技術や事業経営に関する研修を実施

- (1) 前期研修 8月～10月
水運用研修、漏水調査・修繕研修、配水管技術研修など7講座を実施
- (2) 後期研修 11月～
実技実習を重視し、参加しやすい日程に変更する等、カリキュラムをより一層充実
- (3) これまでの受講者数 108名
収益拡大を図るため、水道事業体等の要望に応じて、オーダーメイド型の研修を実施

3 国際関連事業

- (1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する中央アジア及び東南アジアからの海外研修員の受入れを2件受託
- (2) 海外で水ビジネスの展開を考えるメーカー、エンジニアリング会社及び商社等と連携した事業展開について積極的に調整を図り、バングラデシュ及びベトナムの水道事業に関する2つの調査案件を受託
- (3) 経済産業省からのサウジアラビアの水分野に関する調査案件に日揮(株)とともに取り組むなど、海外で水ビジネスの展開を考える民間企業等と連携した事業展開について、いくつかの案件に関して調整中